

Economic Trends

発表日：2024年1月26日（金）

都区部版・日銀基調的インフレ率の試算（2024/01）

～1月は全般的に下げ止まり～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 星野 卓也（Tel：050-5474-7497）

〇1月の都区部・基調的インフレ指標は下げ止まり

以前のレポート（末尾の参考文献参照）で試算した東京都都区部版の基調的インフレ率3指標について、本日公表の1月都区部CPIを用いて計算した。刈込平均値（全国ウェイト換算）は23年12月：+2.5%→24年1月：+2.5%、加重中央値（全国ウェイト換算）は12月：+0.9%→1月：+1.0%、最頻値は12月：2.3%→1月：+2.5%となった（いずれも前年比）。1月の伸び率は全般的に下げ止まる形となっている。

コアCPI（生鮮食品除く）は前年比+1.6%と市場予想（+1.9%）を大きく下回り、物価上昇圧力の弱まりをうかがわせる結果となった。一方で、品目別分布の動向に着目した試算値の伸び率は下げ止まる形に。変動の大きい品目（宿泊料など）の影響が薄まる当試算値では、インフレ鈍化圧力の明確な強まりはみられていない。ヘッドラインの弱さは目立つが、今回結果が日銀の金融政策正常化に対する姿勢を後退させるかは微妙なところである。

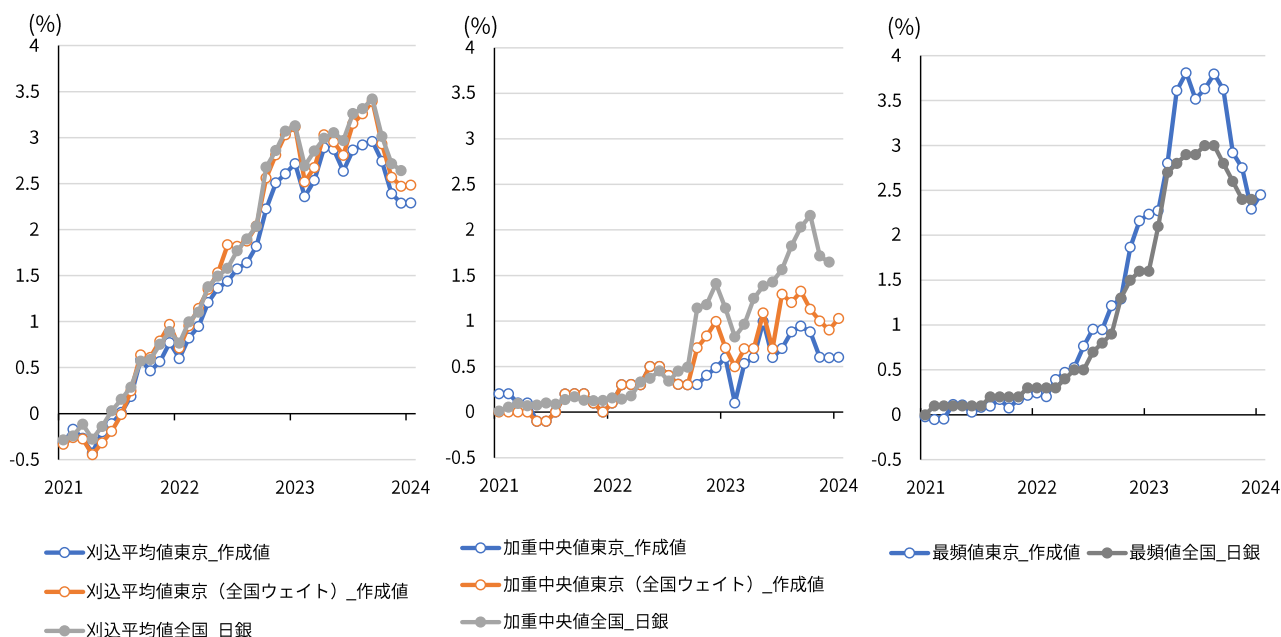
資料1. 試算した都区部版・基調インフレ率と日銀の全国CPI基調インフレ率（前年比・%）

	刈込平均値 東京 筆者作成	刈込平均値 東京_全国 ウェイト 筆者作成	刈込平均値 全国 日銀公表値	加重中央値 東京 筆者作成	加重中央値 東京_全国 ウェイト 筆者作成	加重中央値 全国 日銀公表値	最頻値東京 筆者作成	最頻値全国 日銀公表値
2023年1月	2.7	3.1	3.1	0.6	0.7	1.1	2.2	1.6
2023年2月	2.4	2.5	2.7	0.1	0.5	0.8	2.3	2.1
2023年3月	2.5	2.7	2.9	0.5	0.7	1.0	2.8	2.7
2023年4月	2.9	3.0	3.0	0.6	0.7	1.2	3.6	2.8
2023年5月	2.9	3.0	3.1	1.0	1.1	1.4	3.8	2.9
2023年6月	2.6	2.8	3.0	0.6	0.7	1.4	3.5	2.9
2023年7月	2.9	3.2	3.3	0.7	1.3	1.6	3.6	3.0
2023年8月	2.9	3.3	3.3	0.9	1.2	1.8	3.8	3.0
2023年9月	3.0	3.4	3.4	0.9	1.3	2.0	3.6	2.8
2023年10月	2.7	2.9	3.0	0.9	1.1	2.2	2.9	2.6
2023年11月	2.4	2.6	2.7	0.6	1.0	1.7	2.8	2.4
2023年12月	2.3	2.5	2.6	0.6	0.9	1.6	2.3	2.4
2024年1月	2.3	2.5		0.6	1.0		2.5	

（注）日銀公表値に倣う形で、以下で各値を求めている。刈込平均値：価格品目別上昇率分布の上下10%（ウェイトベース）を除去して前年比を算出、加重中央値：価格品目別上昇率分布における50%近傍の値の前年比（ウェイトベース）、最頻値：各品目別の価格上昇率分布から最尤法でパラメトリックに分布を推定（正規逆ガウス分布）。得られた分布の最頻値。日銀は一部品目・影響の除去を行っているが本試算では行っていない等、一部手法に異なる点がある点に留意。直近値は東京都都区部の中旬速報値、過去値は確定値より作成。

（出所）総務省、日本銀行より第一生命経済研究所が作成。

資料2. 試算した都区部版・基調インフレ率と日銀の全国CPI基調インフレ率（前年比・％）



（注）資料1に同じ。（出所）総務省、日本銀行より第一生命経済研究所が作成。

（参考文献）

星野（2023）「東京都都区部版・日銀基調的インフレ率の試算」第一生命経済研究所 Economic Trends

川本・中浜・法眼（2015）「消費者物価コア指標とその特性 - 景気変動との関係を中心に -」日銀レビュー・シリーズ、15-J-11

白塚（2015）「消費者物価コア指標のパフォーマンスについて」日銀レビュー・シリーズ、15-J-12

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。